

# わが街 太子堂・三軒茶屋 スポットライト

## ミニコミ紙第五〇号発行にあたって

太子堂下の谷町会 会長 佐藤キイ子  
(初代編集委員)

一九八八年から発行し、歴代の編集長を中心に、様々な立場の方々が編集委員として熱心に活躍し、地域の方々に支えられて二十三年。

「第五〇号」の発行にあたり心からお祝い申し上げます。

地域の身近な話題や町の歴史、イベントの予告など「地域の親睦を深めた」とそんな思いからミニコミ紙の発行を始めました。発行当初はこんな長らく続くとは思っていませんでした。素人の集団でしたので試行錯誤：細かい所もしっかりと話し合い、意見の交換を重ねたように思います。

私にとって、編集会議は、素晴らしい人たちとの出会いの場であり、学ぶことの多い有意義な時間であったと懐かしく思い出されます。

三月、東日本大震災を経験しました。九月、台風の影響にあった所もありました。

思いやりや、お互いを気遣う心。ちよつとした節電からは社会の一員であるという自覚と責任。目には見えない「人との繋がり」とでも言いましょうか。このようなことが改めて見直されて来たのではないかと感じます。

このミニコミ紙が、「地域の人の繋がりに役立つように、自由な発想と表現でその志を繋いで欲しい」と願っております。

これまで支えてくださいました方々に感謝御礼を申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

## ミニコミ紙を振り返って

太子堂二丁目大塚町会 会長 鳥居宏至  
(初代副編集長)

二十数年振りにB4・2ページ・5段組のミニコミ創刊紙を手にして感慨を覚えました。まずタイトルが『第2ふれあいニュース』と、文字通り第2出張所管轄内を代表する表題であり、紙面構成はあくまで新聞形式にし、大小の見出しをつけて読んでもらうこと。

文章の列は依頼原稿を別にして採らない事にしました。今の様にパソコンが発達していない時代だったのでレイアウトには多少の苦労がありました。

報道の在り方をどの方向にもつてゆくかも重要な問題でした。太子堂連合町会に關係ある話題を主にしたかったのも事実です。

個人だけではなかなか知り得ない事柄でも記者が關係筋に直接会って書面にしたものは読者の関心を引きつけるものです。

長い間にはマンネリ化した紙面が出来上がる事があります。この場合は副編集長兼整理係(紙面作り)の気のゆるみが原因とみて私はすぐ反省します。が時すでに遅しです。

ああだこうだとつまらない事を書きました。我々ミニコミ隊の強みは短時間で仕事をきっぱり片付け、次の時間が待っているのです。当時は、月一回程度の委員会の後はいわずと知れた「飲み会」です。飲める人も飲めない人も有志がそそくさと集まります。ミニコミ紙の話題は抜きにし懇談するのでした。

飲み会とは別に定期的に一泊旅行もしました。旅行についてのエピソード

は尽きないので省略します。一期生の良しとするところは、結束力があり二十数年たった今でも時間が合えば集まり言いたい放題を言い意見交換もし、あとくされのないひとときを過せるのは素晴らしいと思います。

## 初期ミニコミ紙の頃

太子堂本町会 会長 神田安則  
(初代編集委員)

このたびは、大変難しいテーマをいただきました。編集委員として活動したのが昭和六十三年頃で、二十三年ほど前を振り返らなくてはいけないからです。

当時の委員構成は、各町会十三軒茶屋町会の一丁目を含む十六名でスタートする予定でしたが、実際には三軒茶屋町会は参加せず、十四名でのスタートとなりました。スタート時の出張所長は河原崎さんで、穏やかで音楽の好きな方と記憶しています。各委員も個性があつて楽しく会議を消化することができたと思います。

私は常々「どうせやるなら楽しくやろう」をモットーにしています。まず、会議だけの集まりでは親密にはなれないと思ひ、旅行とお酒の席をつくり、お酒はほとんど毎回のようになり、旅行も年一回は行ったものです。ミニコミで夜遊びを覚えたなんて冗談を言う女性編集委員もいますが、それほど印象に残った編集会議ができて良かったと思っています。

その後、出張所長も石井さんに代わりました。石井さんは、お酒が大変好きな方で手をやかせることもありましたが、こんな楽しい委員会も委員を希望する人を入れる入れないで意見がまとまらず、残念ながら解散に進んでしまいました。

当時のメンバーも今では高齢となりました。本年八月に同窓会を開催しました。参加した皆さんから出た言葉はただ一つ、「こないないメンバーはいないね」でした。

ミニコミ紙の発行も、私たちの解散から二三年空白がありました。地域で活動する皆さんは損得なしで参加してくれず、役職上の上下関係はあつても事実上の上下関係は存在しないと思つていきます。相手を思いやる心は忘れないで欲しいと思います。人のいざこざなどは冷静になるとつまらないことです。それで失う物のほうが大きいと思います。

最後に現編集委員へのお願いとして、おじいちゃん、おばあちゃんのお知恵、皆さんの小学校時代に親に言われたこと、遊んだこと、そして今、神社庁が中心になつて進めている教育勸語の復活などその背景にあるものなど考えてみてはいかがでしょうか。

現、ミニコミのメンバーはとても仲間にも恵まれていて聞きます。更なる発展を期待します。

## お知らせ

このミニコミ紙は三軒茶屋銀座商店街のホームページ「三茶しゃれなあと」で見ることが出来ます。閲覧をお待ちしております。

